

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	LEIF横浜南		公表日		2025年 3月	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		職員配置で対応 活動場所の出入口付近に職員配置 常時整理整頓をしている事で突発的なトラブル時にも個別対応はできる状態となっております。 子どもたちの身体の向きや動き方	
	2	②職員の配置数は適切であるか	4	1	児童サポート方法や役割分担を明確にして配置数のカバーをしている。 車を取りに職員が手薄になるタイミングでのトイレに行きたい児童の対応が難しい場合がある 横浜市のルールに則った職員配置ができています。 早い段階でシフト調整を行っている	
	3	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	建物がバリアフリーの構造になっていないです	視覚フォローだけでなく、身体的なサポートが必要な子が入所する場合には手すりなども検討必要。
業務改善	4	④業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	1	日々の朝礼や月に2回以上のミーティングによりPDCAサイクルができています。 月初に振り返りMT・中旬にも会議を行っている	
	5	⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1	評価表以外にも日々の保護者様とのやり取りの中で改善点があれば改善に努めています。	
	6	⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1		
	7	⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1		
	8	⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	毎朝の朝礼でも都度意見を言う場がある 月に1回以上の研修会が実施されています。 他地区との研修や事業所内研修を行っている	
適切	9	⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	定期的に面談を行い、現状のニーズや課題について個別支援計画書を作成しています。 計画の作成後、児発管からの共有もある	
	10	⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0		
	11	⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	プログラム理解の統一の為に事前の共有を心掛けています。 スモールステップで立案ができています	指導員間での立案になっている事もありますが、全体が療育の狙いを把握した上でサービス提供を行っていけるように改善が必要となります。
	12	⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	毎月のテーマを決めてプログラムを実施している。 毎月のプログラムテーマを掲げた上で、週に合わせて練習内容を変えています。 月ごとのテーマや週ごとのステップを組んでいる	
	13	⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	土日祝日は平日と内容を変えたプログラムを展開している 役割分担など、個人のスキル向上に向けて支援の実施をしている。 月のテーマに沿って練習内容が月ごとに変わっている 療育の内容上、個々のきめ細やかな課題とまではいきませんが、5領域の要素が入ったプログラム内容になっています。 施策を実施している	

な 支 援 の 提 供	14	⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	児童発達管理責任者を中心に、今後の支援内容について話し合いデイサービス計画を作成している。 集団療育を基本とする中で、必要に応じて個別活動を取り入れる事で集団に入れるような取り組みはしています。 集団活動が多いものの個人の役割や担当を設けて個別活動を行っている	
	15	⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	朝礼時、当日の注意事項等を確認している。 毎日の朝礼や日誌(送迎表)を確認する事で1日のスケジュールを全体が分かるような仕組みになっています。 朝礼にて確認をしている	
	16	⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	翌日の朝礼を用いて、前日の不明点問題点を確認している。 個人的な話しもありつつ、翌日の朝礼時に全体へ共有がある。 ドライブやチャットを活用して共有 支援終了後ではなく、気付いた点があれば翌日の朝礼等に共有する時間があります。	
	17	⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1		目立った事やトラブル等があれば記録していますが、個々に事細かにはできていないです。
	18	⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1	児童発達管理責任者を中心に定期的にモニタリングを実施。作成完了後職員が目を通し、今後の支援内容を確認している。	定期的に面談を行い個別支援計画の見直しはしていますが、利用頻度などによってはきめ細やかな見直しとまではいかないです。
	19	⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	1	主軸の運動療育だけではなく、レクリエーションや学習面等、ご利用者の様々な様子が見れるような工夫はされています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	基本的には児童発達支援管理責任者が参加しています。その際、指導員全体に様子などを聞き取りをしてから参加しています。	
	21	㉑学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	1	基本的にはご家庭からの情報共有をいただいています。	
	22	㉒医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	1	現状、在籍していません。	
	23	㉓就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4		基本的にはしていませんが、必要に応じて行っています。
	24	㉔学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	4		卒業後に障害福祉サービス事業所を利用した児童がまだいないためどちらとも言えない事例がまだ無いので、今後移行する場合の情報提供が必要。 現状、卒業生がいませんがその際には必要に応じて対応していきます。 その機会がない
	25	㉕児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	4		研修は受けていないが、今後助言を求めたり研修を受ける機会があっても良いのかもしれない。 責任者や児童発達支援管理責任者は連携しているのかもしれないですが共有がなく不明なので共有希望
	26	㉖放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	実績としては少ないですが、スポーツスクールとの合同プログラムをしました。今後もその予定があります。	
	27	㉗（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	毎回参加している	責任者や児童発達支援管理責任者は連携しているのかもしれないですが共有がなく不明なので共有希望
	28	㉘日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	児童発達支援管理責任者を中心に児童の抱えている課題について話し合う機会を設けている 帰宅送迎時に共有と伝え方を意識して会話をするようにしている。 面談や送迎時、サービス提供記録にて日々の様子を共有し課題等についても話をしています。	

	29	㉔保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	定期的な面談以外にも、突発的な事が起きた際には相談に乗り助言をしています。	個人的には出来ていないので、今後研修等があっても良いと思う。
保護者への説明等	30	㉕運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1		
	31	㉖保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	随時おこなっています。	
	32	㉗父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1	保護者会はありませんが、祝日プログラムでは保護者が参加する事もある為、状況によっては交流する場面もあります。事業所側から進んで交流を促す事はありません。	
	33	㉘子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	対応可能な事については、迅速に体制を整えています。また、その際に具体的な説明もなされています。	
	34	㉙定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	毎月利用予定表を通して、保護者様にイベントやプログラム内容を発信している こちらからの発信だけでなく、必要に応じて直接の確認や口頭で伝える等をしている。	
	35	㉚個人情報に十分注意しているか	5	0	個人情報の預かりや持ち出しについては都度記録を残しています。	
	36	㉛障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	視覚支援や話の仕方について意識をするようにしている。 言葉でのやり取りが難しい際には、視覚的な支援等を用いてコミュニケーションを取っています。また、コミュニケーションがうまく取れた際には職員間で共有しています。	
	37	㉜事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	5		保護者参加はあるが、地域住民を招く事はしていないので要検討、
非常時等の対応	38	㉝緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	定期的に研修会が開かれています。保護者への周知については契約時に伝えてあります	職員間においては研修等を通じてマニュアルの読み合わせなど実施しているが、保護者様に細かい内容までは伝わっているか不明。
	39	㉞非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	屋内外どちらの活動も想定して避難訓練をしています。	
	40	㉟虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	定期的に研修会が開かれています。	
	41	㊱どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	該当児童の手を握る際等、力の加減についても考えて接触を行うように意識している。 該当児童がいませんが、必要に応じて対応していきます。	
	42	㊲食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	現在特別対応が必要な子がいないので、該当者がいる際の対応に注意する。 持参した食品以外は口にしないようにしている。おやつ等の交換も禁止している。 医師の指示書を持つ児童はいません。	
	43	㊳ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0		その程度作成はしているが、頻度は低いため、今後はより細かく作成する必要がある。